

週間漁海況情報—第41号

平成24年10月15日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

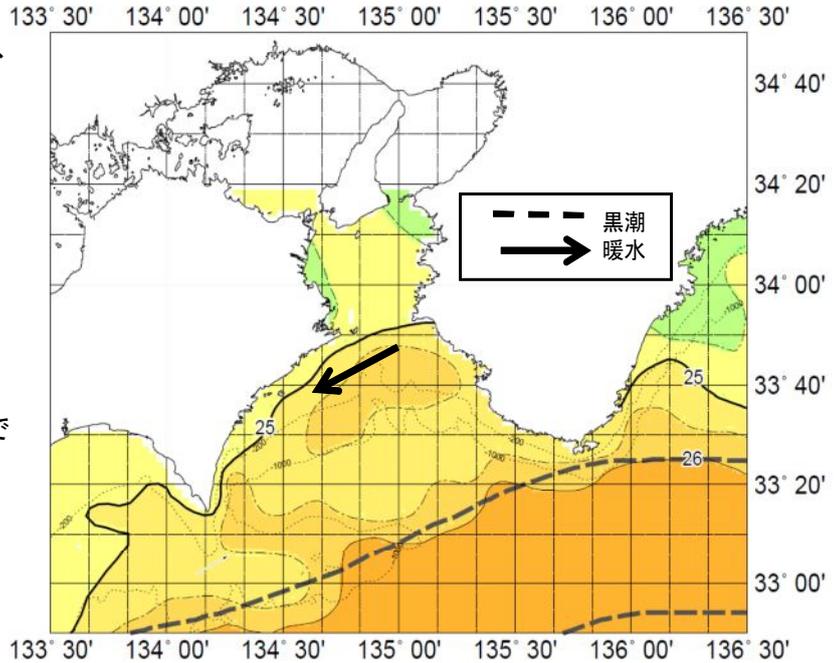
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.10.15）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で23～24℃台、紀伊水道で23～24℃台、海部沿岸で23～25℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からやや強い暖水流入がある。

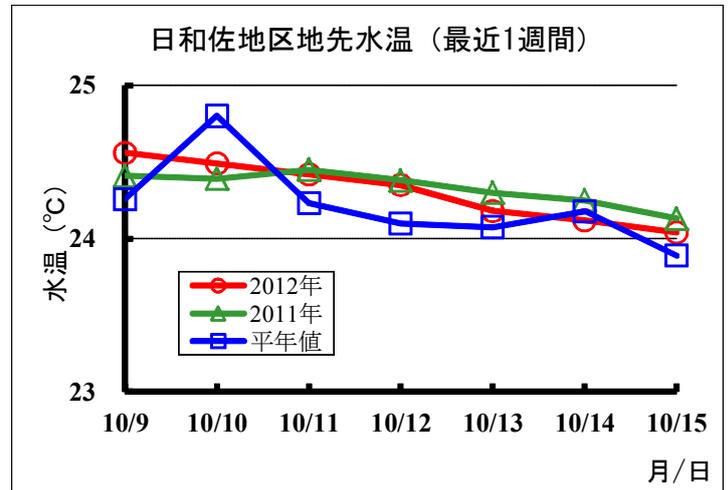
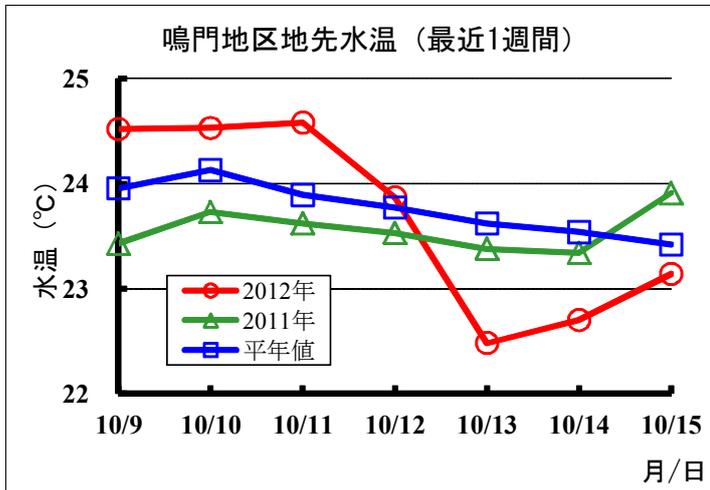


地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の22.5～24.6℃、日和佐地区は「平年並み」の24.0～24.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の23.6～24.7℃で推移した。

漁業調査船「とくしま」で10月3、5及び11日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～50m層において、「やや高め」の24.8～25.3℃であった。

紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
10/3, 5, 11	今年値	25.1	25.2	25.2	25.3	24.8	31.9	32.5	32.9	33.1	33.8
	平年偏差	0.9	1.0	1.0	0.9	1.2	-0.3	-0.2	-0.2	-0.3	-0.2
	前年偏差	0.4	0.4	0.2	-0.1	-0.6	-0.2	0.1	0.0	-0.3	-0.4



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが1.5トン（1日1隻あたり40kg）、大主体にサバフグが0.4トン（同29kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にカワハギが0.2トン（同2kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマルアジが0.5トン（同24kg）、マルソウダが0.4トン（同12kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが0.6トン（同17kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが99.5トン（同843kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 10月8日～10月14日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	36	1,454	40	大主体
		サバフグ	13	375	29	大主体
建網		カワハギ	84	205	2	中主体
小型定置網		マルアジ	19	461	24	小主体
		マルソウダ	37	446	12	
釣り		タチウオ	33	557	17	大主体
パッチ網		紀伊水道	シラス	118	99,500	843

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月10日～10月16日には、海部沿岸では、小型定置網で、アオリイカが0.3トン、アカカマスが0.4トン、カタクチイワシが0.4トン、大主体にカマス類が0.5トン、カンパチが0.2トン、ゴマサバが0.3トン、小主体にタチウオが1.4トン、小主体にマアジが0.2トン、釣りで、アオリイカが0.2トン、大主体にサバフグが0.2トン、海部沖合でカツオが0.4トン、小主体にキハダが0.2トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが85.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並み」の22～23℃台、日和佐地先で「平年並み」の23～24℃台で推移する見込み。